

演題名	分別活動における医療廃棄物の削減		
施設名	熱川温泉病院	(ふりがな) 発表者(職種)	(かわうち とき) 川内斗輝(看護師)
(ふりがな) チーム名	(こすとさくげん げんかいとつばそのさきへ) コスト削減～限界突破その先へ～		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	課題達成型		
改善しようとした 問題課題	当院において医療廃棄処分量が年々増加してきている。 病棟で医療廃棄段ボールの廃棄数を調べた結果、6日間で85箱廃棄、97,750円の費用が掛かっている。 又、医療廃棄段ボールの中に一般ごみを捨てている現状もあった。 「ごみの分別」「経管栄養のごみ」等の見直しを行い、医療廃棄物の削減を目指す。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 医療廃棄段ボール (目標値) 週20箱削減を目指す(週2万3千円、年間120万円削減)		
実施した対策	①分別の周知 ②経管栄養ごみの捨て方の見直し ③更衣室前の医療廃棄段ボールの撤去 ④ラウンドチェック		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)医療廃棄段ボールの中に一般ごみが入っている / 経管栄養ごみが多い (実施後)更衣室前の医療廃棄段ボール撤去 / 経管栄養のパック部分は一般ごみとして処分		
歯止めと 標準化	標準化:ごみの分別継続及びラウンドチェック 管 理:医療廃棄段ボールの廃棄数を毎月確認する 教 育:TQMメンバーが新入職員に分別の指導を行う		
活動の種類 ※複数選択可	③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 田所康之 院長 2 川内斗輝 看護師 3 小林利恵/山田成美 看護師/ケア 4 横山あみ/古代里菜 看護師/ケア 5 本山命 看護師 6 長谷川弓子 作業療法士 7 石井純子 言語聴覚士 8 村木美奈江 管理栄養士 9 植本崇夫 臨床検査技師 10 鈴木佐也佳 保育士 11 新藤芽衣/古山信弥 施設管理/事務 12 黒川恵/稲葉夢葉 事務/事務 13 杉山美恵子/進士博史 事務/事務
活動の場 ※複数選択可	①診療部門 ③管理部門 ④その他		
活動期間	2024年3月 ～ 6月		
リーダー名 (職種)	古山信弥(事務)		
活動回数	10 回		

【現状把握】

現状把握

■医療廃棄 40L段ボール廃棄数(箱)

日付	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	合計
4階廃棄	4	6	2	3	6	7	28
5階廃棄	4	2	2	2	3	1	14
6階廃棄	2	1	5	1	4	2	15
7・8階廃棄	4	4	8	3	3	6	28
計	14	13	17	9	16	16	85

6日間で85箱廃棄(1,150円/箱) 処分費用：97,750円/週

■更衣室前 医療廃棄段ボール



更衣室前の医療廃棄段ボールに一般ゴミを捨てたことがありますか？

(日付日は無回答が最も多い週、6日算としています)

更衣室も利用していない：18.5%

ある：2.3%

なし：79.2%

(調査数：130)



攻め所の明確化

ありたい姿	現在の姿	ギャップ	攻め所
医療廃棄物を減らす	分別が出来ていない (医療廃棄段ボールに一般ゴミが入っている)	正しい分別が 周知・意識されて いない	分別について 周知徹底
	経管栄養のごみが 1番かさばる	医療廃棄段ボールが いっぱいになる	経管栄養のごみの 捨て方見直し

4月1日～6日 経管栄養者数(経管パック数)

- 4F：17名 (324パック)
- 5F：16名 (292パック)
- 6F：6名 (99パック)
- 7・8F：11名 (205パック)

6日間で50名
920パック

【目標設定】

目標設定

何を	医療廃棄段ボールを
いつまでに	5月末までに
どうやって	分別及び処分方法を見直し、 約20箱/週削減を目指す (23,000円/週：年間120万円削減)

【数値目標】

各階棟 (4F/5F/7F-8F)
1日1箱
減らしたい
(数えやすい)

→ 6日間で24箱
6F階棟 (国山棟5F) は経管栄養患者が少ない為、20箱/週を目指した

(数えやすい)

【対策の立案と実施】

成功シナリオの立案

攻め所	方策案	効果 実現性 点数			判定
		○	△	×	
ごみの分別	分別の周知	○	○	6	採用
経管栄養ごみ	経管栄養のごみの捨て方見直し	○	○	6	採用
更衣室前 医療廃棄物段ボール	感染制御チームに必要性を検討	○	○	6	採用

成功シナリオの立案

方策案	誰が	いつまで	どうする
分別の周知	メンバー	6/5	I.院内PCメールで周知 II.ラウンドチェック
経管栄養のごみの捨て方見直し	メンバー	4/10	I.自治体にバック部分は一般ごみとして処分できないか確認 II.ラウンドチェック
更衣室前 医療廃棄物段ボール	看護師長	4/23	感染制御チームに必要性を検討

成功シナリオの実施(ごみの分別)

ごみの分別について院内PCメールにて周知

【内容】

- 燃料・電気代等の物価高騰により処分単価費用もアップしている
- 医療廃棄段ボールの中に一般ゴミを入れない事
- しっかり分別して削減にご協力を!!



成功シナリオの実施(経管栄養ごみ)

経管ごみの処分方法について、自治体に確認

→ バック部分は「一般ごみ」として処分できる!



成功シナリオの実施(経管栄養ごみ)

経管ごみの分別方法について、新たな分別を促すポスターを作成し、各病棟に掲示

経管栄養パックとチューブは分別して捨てましょう!

皆さんは知っていますか...?

経管栄養パック
↓
一般ゴミ
1箱 = ¥1,150
当院の1週間廃棄数: 約80箱

切るor外す
↓
チューブ
↓
医療廃棄ゴミ

つまり、1週間に医療廃棄費用は...
約¥92,000もかかっているんです!
そこで医療廃棄品回収チームは
医療廃棄BOXの使用量を減らす
取り組みを行います!

5月1日より分別スタート

【対策の立案と実施】

成功シナリオの実施（更衣室前医療廃棄段ボール）

Q. 更衣室前にある医療廃棄段ボールの中に一般ごみを捨てたことがありますか？



成功シナリオの実施（ごみの分別）

分別チェックシートの作成 及び ラウンドチェック (週3回)

- 一般ごみが入っていないか
- 経管栄養パックが入っていないか (病棟のみ)

病棟	検査項目	結果	担当者
1F101	一般ごみ		
1F101	経管栄養パック		
1F101	その他		
1F102	一般ごみ		
1F102	経管栄養パック		
1F102	その他		
1F103	一般ごみ		
1F103	経管栄養パック		
1F103	その他		
1F104	一般ごみ		
1F104	経管栄養パック		
1F104	その他		
1F105	一般ごみ		
1F105	経管栄養パック		
1F105	その他		

【効果の確認】

効果の確認（ラウンドチェック）

病棟ラウンドチェック

病棟	検査項目	結果	担当者
1F101	一般ごみ	あり	
1F101	経管栄養パック	なし	
1F101	その他	なし	
1F102	一般ごみ	あり	
1F102	経管栄養パック	なし	
1F102	その他	なし	
1F103	一般ごみ	あり	
1F103	経管栄養パック	なし	
1F103	その他	なし	
1F104	一般ごみ	あり	
1F104	経管栄養パック	なし	
1F104	その他	なし	
1F105	一般ごみ	あり	
1F105	経管栄養パック	なし	
1F105	その他	なし	



病棟以外 ラウンドチェック



効果の確認【追加対策】

ポスターを再掲示



経管栄養パックとチューブは分別して捨てましょう!

皆さんは知っていますか・・・?

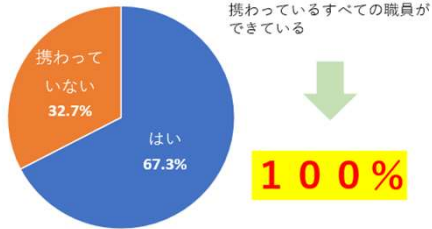
経管栄養パック 1箱 = ¥1,150
当院の1週間廃棄数 約80箱
つまり、1週間に医療廃棄費用は... 約¥92,000もかかっているんです!

切るのがす
チューブは
医療廃棄ゴミ

医療廃棄物の費用を減らそう!

効果の確認（経管栄養のごみの捨て方の見直し）

Q. 経管栄養のパックとチューブを分別して捨てていますか？



100%

効果の確認【有形効果】

医療廃棄物 40Lダンボール 廃棄数

4月1日～6日 85箱 (97,750円)
(経管栄養パック数: 920パック、感染隔離対応者数: 5名)



5月20日～25日 64箱 (73,600円)
(経管栄養パック数: 954パック、感染隔離対応者数: 6名)

**6日間で21箱減 (24,150円削減)
(年間147万円削減)**



効果の確認【無形効果】

リハセンター

活動を始めてから、既に設置してある医療廃棄段ボールの横に一般ゴミ箱を設置して、分別を意識しやすい状況となった



効果の確認【波及効果】

医療廃棄物用レジ袋見直し

シルバー レジ袋
7.22円/枚



→
-3.57円/枚

年間約12万円
削減成功!

ブルー レジ袋
3.65円/枚



【標準化と管理の定着】

取り組みの成果

●分別方法の見直し

経営ごみ：バックとチューブが分別され廃棄されるようになった

年間 **約1,470,000円**コスト削減

●物品変更

医療廃棄用ごみ袋シルバー色 → ブルー色に変更

年間 **約120,000円**コスト削減

合計約1,600,000円削減

●職員の意識

- ・活動を通して皆が分別を意識するようになった
(リハセンターのごみ箱の配置など)
- ・更衣室前の医療廃棄段ボールは撤去後も問題なし

標準化と管理の定着

項目	何を	いつ	どこで	誰が	どうする
標準化	ごみの分別 (一般廃棄) 経営廃棄ごみの分別	部署	各部署	TQM メンバー	分別経路・用紙していく
	ラウンドチェック	月1回	各部署	TQM メンバー	ごみの分別確認を行う
管理	蓋原廃棄段ボール	月1回	各部署	総務課	廃棄数の確認を行う
教育	ごみの分別 (一般廃棄) 経営廃棄ごみの分別	入職時	各部署	TQM メンバー	指導していく

【反省と今後の進め方】

反省と今後の課題

ステップ	良かった点	課題・反省
テーマ選定	コスト削減と明確な目標がありチーム内で色々と議論できた	さらに分別や削減出来るものがないか検討を行う
現状把握	1階層の各部署の蓋原廃棄段ボール数の調査がスムーズに行えた	倉庫以外の部署についての現状把握が足りなかった
攻め所の明確化	「経営バック」という各部署の共通点に留意できた	倉庫以外の部署について検討できなかった
目標設定	各部署1区が削減することが出来れば大きな削減になると考えた	倉庫以外の部署についても検討した数値ではなかった
成功シナリオの立案	最終的に確認してから経営がスター作成・周知までスムーズに行えた	倉庫以外の部署での具体的な取り組みを検討すべきであった
効果の確認	大きな成果も得ることができた	段ボール数の減りが少ない部署の調査も及ばなかった
標準化と管理の定着	他部署間のコミュニケーションが高まった	廃棄数もがらみで可視化し削減を確認出来るようにしていく